

＋新刊のご案内＋

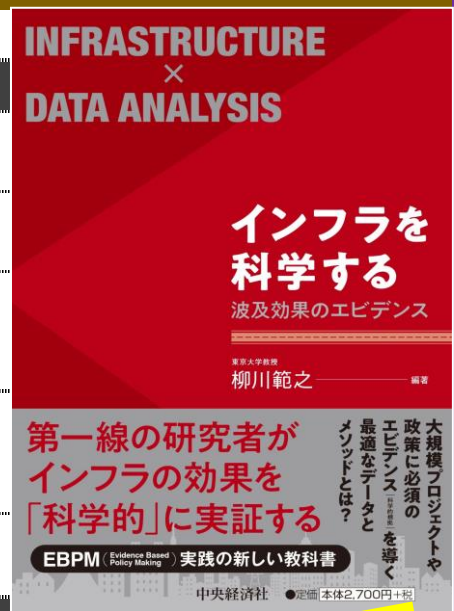
インフラを科学する 波及効果のエビデンス

東京大学教授 柳川範之 [編著]

- ▶ビジネス・政策を問わず、社会のあらゆる分野で数字による裏付けや科学的な根拠が求められています。
- ▶専門的な予備知識がなくても、各章の扉で「本章のねらい」「本章を通じてわかったこと」「政策的な示唆・メッセージ」を1ページでまとめているため、短時間でエッセンスをつかむことができます。
- ▶EBPM (Evidence Based Policy Making) の参考資料、実証分析のデータと手法のケース集として好適です！

CONTENTS

序章	インフラを科学する重要性 (柳川範之)
第1部	インフラの「非伝統的」波及効果
第1章	インフラの経済効果をより広義にとらえる —Wider Economic Impactsからみた集積の重要性 (中川雅之)
第2章	企業間ネットワークから考える交通インフラの効果 —ヒトの移動と地理空間の重要性 (齊藤有希子)
第3章	都市間交通インフラと企業間取引・企業パフォーマンス —東日本大震災による高速道路途絶の影響 (細野 薫・植杉威一郎・内田浩史・小野有人・宮川大介)
第4章	高速道路整備と事業所のパフォーマンス —新東名高速道路開通による事業所の生産・輸出への影響 (要藤正任・井上寛規・伊藤公二)
第5章	交通インフラの地域別・産業別効果をとらえる —SCGE分析の進展と実務での利用可能性 (小池淳司)
第2部	インフラが果たすこれからの役割
第6章	都市の魅力 —何が都市の成長をドライブするのか (清水千弘・武藤祥郎)
第7章	少子高齢化時代のインフラストラクチャー投資と都市の空間構造 —都市内住宅立地理論による検討 (高橋孝明)
第8章	労働減少社会における社会資本整備 —生産性を向上させる地域配分とは (林 正義)



11月23日発売予定
※書店や地域によって発売
時期がずれることがあります。

●編著者紹介

柳川 範之 (やながわ のりゆき)・・・東京大学大学院経済学研究科・経済学部教授。博士 (経済学・東京大学)。慶應義塾大学経済学部卒業。東京大学大学院経済学研究科博士課程修了。著書に『法と企業行動の経済分析』(日本経済新聞出版社、日経・経済図書文化賞受賞)、『契約と組織の経済学』(東洋経済新報社)、『東大教授が教える独学勉強法』(草思社)他多数。

A 5判・208頁・ソフトカバー 本体2,700円＋税 ISBNコード 978-4-502-28531-8

<本書に関するお問い合わせ先>

〒101-0051 東京都千代田区神保町1-31-2

TEL: 03-3293-3371 (編集代表) 03-3293-3381 (営業代表)

中央経済社 www.chuokeizai.co.jp